

2000年5月17日
インフォテリア株式会社

インフォテリア、iConnector, iMessenger, iXSLT の Solaris 版を発表
XML ベースの本格的「.com」サーバーアプリケーションの開発に弾み

インフォテリア株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：平野洋一郎）は、国内随一の実績を誇る XML^{*1} ベースのソリューション構築を容易にするコンポーネントソフトウェア製品、iConnector for Oracle, iMessenger, iXSLT の 3 製品を、サン・マイクロシステムズ株式会社（本社：東京都世田谷区、代表取締役社長：菅原敏明）の Solaris オペレーティング環境に対応し、2000年6月28日より出荷開始することを発表しました。Solaris オペレーティング環境は高可用性の求められるミッションクリティカルなアプリケーションで多大な実績があり、これら 3 製品を Solaris 対応とすることで、よりハイエンドの顧客ニーズに応えていく狙いです。

サン・マイクロシステムズ株式会社の長谷川将常務取締役は、「Sun は、インターネットを基盤としたビジネス市場の拡大を推進する『dot-com（ドットコム）』戦略を提唱し、オープン・スタンダードに基づく製品、技術およびサービスを提供しております。インフォテリア社の製品のベースとなっている XML は、今後注目されるスケラブルな ASP^{*2} や B2B^{*3} のアプリケーションを支える必要不可欠な中核技術です。今回、MRO^{*4} 業界などでの実績と市場評価の高いインフォテリア社の XML 製品群が Solaris オペレーティング環境上で利用可能になることにより、国内および海外での XML をベースとする「ドットコム・ソリューション」の幅が大きく広がることと確信しています。」と述べ、製品出荷を歓迎されました。

iConnector for Oracle は、Oracle データベースと様々な構造の XML データを仲介するソフトウェアで、ルール定義を変更するだけで様々な形式のデータベース定義と様々な構造の XML データを関連づけ、各データを双方向で入出力することが可能です。iMessenger は、XML データをインターネットメッセージングプロトコルの標準である SMTP を使用して送受信するためのソフトウェアです。iXSLT は、様々な構造の XML データを別の構造の XML データに変換したり、HTML、Compact HTML^{*5} などの XML 以外のデータ形式に変換することが可能なソフトウェアで、W3C より勧告されている XSLT 1.0^{*6} および XPath 1.0^{*7} に完全準拠しています。

価格と販売時期

各製品の価格は、iConnector for Oracle が 160 万円 / サーバー (税別) , iMessenger が 80 万円 / サーバー (税別) , iXSLT が 40 万円 / サーバー (税別) となっており、対応環境は全て、Solaris 2.6, 7 および 8 となっています。各製品とも、2000 年 6 月 28 日より全国のインフォテリア XML プロフェッショナルインテグレーターを通じて販売開始される予定です。

インフォテリア株式会社について

インフォテリア株式会社は、1998 年に設立された国内唯一の XML 専門ソフトウェア会社です。インフォテリアでは、先進の XML テクノロジーをベースに、XML の普及を促進するコンポーネント製品や、企業間(B2B)の電子商取引(EC)およびアプリケーション統合を XML ベースで行うためのソフトウェアを提供しています。

###

<お問い合わせ先>

記事掲載用：	info@infoteria.co.jp	(電子メール)
	http://www.infoteria.com/	(ウェブサイト)
プレス専用：	03-5783-6505	(電話)
	press@infoteria.co.jp	(電子メール)
	担当：事業開発部 江島 健太郎	

<製品概要>

■iConnector for Oracle (アイ コネクター フォー オラクル)

- 概要:
- Oracle のデータベースデータを任意の XML 形式で取り出す。
 - 任意の XML データを Oracle データベースに格納する。
 - データベース定義と XML 定義のマッピングを GUI で行う、iRuleGenerator 標準添付。(Windows 上で稼動)
- 価格: 1 6 0 万円 / サーバー
- 稼働環境: Solaris 2.6, 7, 8
Oracle 7.3.4, 8.0.x, 8.1.x
- 出荷日: 2000 年 6 月 28 日

■iMessenger (アイ メッセンジャー)

- 概要:
- POP3, IMAP4 のメールボックスに届いた XML メッセージをピックアップし処理モジュールに渡す。
 - ルートタグの内容により処理の振り分けが可能。
 - XML ファイルを SMTP により送信する。本文による送信、添付ファイルによる送信を選択可能。
 - ウィザード形式の設定画面による簡単設定。
 - ポーリング処理と個別のバッチ処理が可能。
- 価格: 8 0 万円 / サーバー
- 稼働環境: Solaris 2.6, 7, 8
- 出荷日: 2000 年 6 月 28 日

■iXSLT (アイ エックス エス エル ティー)

- 概要:
- XSLT 1.0 (W3C 勧告)に準拠した XSLT 処理機能。
 - 与えられた XML データを、任意の構造の XML データに変換する。
 - 与えられた XML データを、HTML, Compact-HTML, CSV など他の構造のデータに変換する。
 - XPath 1.0 (W3C 勧告)に準拠した XPath 処理機能。
 - XSLT の作成やテストを対話式に行う、iXSLT Invoker 添付。
 - XSLT の雛型を簡単に作成できる、XML Style Wizard 添付。
- 価格: 4 0 万円 / サーバー
- 稼働環境: Solaris 2.6, 7, 8
- 出荷日: 2000 年 6 月 28 日

<用語説明／注釈>

*1 XML (エックス エム エル)	eXtensible Markup Language の略。データの内容とデータの構造を切り離し、意味付けされた情報を双方向に交換するための標準データフォーマット。1998年2月10日にW3Cより勧告された。次世代のウェブ上の情報交換フォーマットとして注目を浴びている。 ※参考情報→ http://www.w3.org/TR/REC-xml
*2 ASP (エーエスピー)	Application Service Providerの略。ビジネスアプリケーションをインターネットなどを通じて顧客にレンタルする事業者のこと。ユーザはWebブラウザを使って、ASPの保有するサーバにインストールされたアプリケーションを利用する。ユーザのパソコンには個々のアプリケーションをインストールする必要がないので、管理やアップグレードにかかる費用や手間を節減することができる。
*3 B2B (ビートゥービー)	Business To Businessの略。電子商取引(EC)の形態の一つで、企業間取引のこと。企業と一般消費者の取引はB2Cという。電子商取引市場の大部分はB2Bが占めていると言われる。文具などのオフィス用品、書籍などの物品販売から、航空チケットの手配やホテルの予約などのサービス、部品や原料などの調達、人材仲介など、その分野は多岐にわたる。
*4 MRO (エムアールオー)	Maintenance, Repair and Operationの略。主にオフィスサブライ品などの間接物品を指す。現在のB2B市場でも最も展開の早い領域で、NTTデータオフィススマート(株)の「orderit」やプラス(株)の「Biznet」ではインフォテリア製品が採用されている。
*5 Compact HTML (コンパクト エイチティーエムエル)	NTTドコモの「iモード」で使用される簡易版HTML。携帯電話での表示を考慮して通常のHTMLから使用できるタグを大幅に削減したもの。ただし、携帯電話専用の独自タグも一部存在する。
*6 XSLT (エックスエスエルティー)	XSL Transformationの略。XSLは、eXtensible Stylesheet Languageの略。XMLデータにスタイル付けを行ったり、XMLのデータ構造を変換するための標準仕様。1999年11月16日にW3Cより勧告された。 ※参考情報→ http://www.w3.org/TR/xslt
*7 XPath (エックスパス)	XML Path Language。XSLTおよびXPathで使用するXMLデータ内の指定を行うための標準仕様。1999年11月16日にW3Cより勧告された。 ※参考情報→ http://www.w3.org/TR/xpath

以上